

令和元年度 県政世論調査

～調査ご協力のお願い～

日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、山口県では、県内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に選ばせていただき、県政に関するアンケート調査「県政世論調査」を実施しております。

本年度は、あなた様を対象に選ばせていただきましたので、どうぞ、率直なお考えやご意見をお聞かせください。

ご回答は無記名としており、お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、本調査の目的以外に用いることはございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、今後の県政運営の基礎資料とさせていただきますので、なにとぞ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年6月

山口県 総合企画部 広報広聴課

ご記入にあたってのお願い

- ◇ 回答は、お送りした封筒のあて名の方ご本人が記入してください。
 - ◇ 次ページ以降の各質問について、あてはまる番号を○で囲んでください。
 - ◇ 「その他」を選ばれた場合は、()内に具体的に記入してください。
 - ◇ 記入された「調査票」は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
6月25日(火)までにポストに投かんしてください。
- ※ 調査票にお名前を記入される必要はありません。

この調査についてご不明な点や疑問点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査実施主体】 山口県 総合企画部 広報広聴課 広聴企画班
TEL 083-933-2560

【調査実施機関】 (株)東京商工リサーチ 山口支店
TEL 0834-22-1060

最初に、生活全般や政治・経済への関心度についておたずねします。

Q1-1 今のお宅の暮らし向きは、2～3年前に比べて・・・ (○は1つ)

1. 良くなった 2. 少し良くなった 3. 変わらない 4. 少し悪くなった 5. 悪くなった

Q1-2 今のお宅の暮らし向きにあなたは・・・ (○は1つ)

1. 満 足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不 満

Q1-3 これからのお宅の生活の見通しは・・・ (○は1つ)

1. 明るい 2. やや明るい 3. やや暗い 4. 暗 い

Q2 あなたは、国や県、市町の政治・経済についてどの程度関心がありますか。(○はそれぞれ1つ)

	大変 関心がある	関心がある	あまり 関心がない	全く 関心がない
(1) 国の政治・経済	1	2	3	4
(2) 県の政治・経済	1	2	3	4
(3) 市町の政治・経済	1	2	3	4

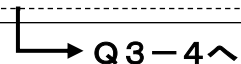
県の行っている広報についておたずねします。

Q3-1 あなたは日頃、県が行っている仕事などの県政情報を何によって知ることが多いですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 県広報誌「ふれあい山口」 | 8. 県が発行する各種パンフレット・チラシ |
| 2. 県政テレビ放送 | 9. 新聞報道 |
| 3. 県政ラジオ放送 | 10. テレビ報道 |
| 4. 県からの新聞広告 | 11. ラジオ放送 |
| 5. 県のホームページ | 12. 市町広報紙 |
| 6. 県のメールマガジン | 13. その他 () |
| 7. 県のソーシャルメディア(フェイスブック等) | |

Q3-2 県全世帯に配布している県広報誌「ふれあい山口」を読んだことがありますか。(○は1つ)

1. 読んでいる 2. ざっと目を通している 3. あることは知っているが読んでいない 4. 知らない



Q3-3 「ふれあい山口」の情報量及び読みやすさについておたずねします。(○はそれぞれ1つ)

(1) 発行回数 季刊発行(年4回)	1. 多すぎる	2. 多い	3. ちょうどよい	4. 少ない	5. 少なすぎる
(2) 各号の情報量 年2回:12ページ 年2回:8ページ	1. 多すぎる	2. 多い	3. ちょうどよい	4. 少ない	5. 少なすぎる
(3) 誌面の読みやすさ	1. 読みやすい	2. どちらかといえば読みやすい	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば読みにくい	5. 読みにくい

Q3-4 県が提供しているテレビ・ラジオの県政番組についておたずねします。(○はそれぞれ1つ)

- (1) 次の番組を視聴(または聴取)されたことがありますか。1、2、3から選んでください。
 (2) 視聴(または聴取)されたことがある場合は、その番組の印象をア、イ、ウから選んでください。

		毎回ほとんど見て(聴いている)	見た(聴いた)ことがある	ほとんど見た(聴いた)ことはない	大変好感が持てる	好感が持てる	好感が持てない
テレビ	「元気創出!やまぐち」[KRY 山口放送] 毎週日曜日 11:10~11:25	1	2	3	ア	イ	ウ
	「大好き!やまぐち」[TYS テレビ山口] 毎週土曜日 18:50~18:55	1	2	3	ア	イ	ウ
	「イキイキ!山口」[YAB 山口朝日放送] 毎週月曜日 23:15~23:20	1	2	3	ア	イ	ウ
ラジオ	「ワンポイント県政」[KRY 山口放送] 毎週水曜日 13:35~13:40	1	2	3	ア	イ	ウ
	「FM県民ダイアリー」[エフエム山口] 毎週月~金曜日 18:10~18:15	1	2	3	ア	イ	ウ
	「情報BOXやまぐち」[エフエム山口] 毎週月~金曜日 7:39~7:40	1	2	3	ア	イ	ウ

県の取組に対する実感についておたずねします。

山口県では、県づくりの基本目標である「活力みなぎる山口県」の実現に向けて、さまざまな取組を進めています。ついては、取組の参考としますので、次の問いにお答えください。

Q4-1 あなたにとって、山口県は住みよい県だと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 住みよい県だと思う | 3. どちらかといえば住みよい県だとは思わない |
| 2. どちらかといえば住みよい県だと思う | 4. 住みよい県だとは思わない |

Q4-2 あなたは、山口県にこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. これからも住み続けたい | 3. 機会があれば県外に移りたい |
| 2. 可能な限りこれからも住み続けたい | 4. 県外に移りたい |

Q4-3 「やまぐち維新プラン」では19のプロジェクトを掲げ重点的に施策を推進しています。これに関する県の施策について、あなたの実感についておたずねします。右ページも参考に、いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

【1】産業維新		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない
		1	2	3	4	5
1 「時代を勝ち抜く産業力強化」プロジェクト						
①	港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
②	新たな工場・事業所などの進出や、企業の設備の増設などが進んでいる	1	2	3	4	5
2 「次代を切り拓く成長産業発展」プロジェクト						
③	医療・環境関連産業や水素の利活用、バイオ関連産業など、今後、発展が期待できる産業の育成や集積が進んでいる	1	2	3	4	5
④	衛星データ利用の取組や、航空機・宇宙機器産業への県内企業の参入、IoT・ビッグデータ・ロボット・AI活用などの第4次産業革命など、新たな産業やビジネス創出の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
3 「中堅・中小企業の『底力』発揮」プロジェクト						
⑤	ベンチャー企業の成長や、地域経済をけん引する中核的な企業の成長を支援するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑥	意欲的な中堅・中小企業の新商品・新サービスの開発や新たな事業展開などを支援するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑦	商業・サービス業の振興に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑧	意欲のある人材が「創業」(起業)しやすいように相談体制の整備や融資制度などの環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
⑨	本県の産業を担う人材の育成や確保に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
4 「強い農林水産業育成」プロジェクト						
⑩	地産・地消や6次産業化、担い手の確保、先端技術の活用等による経営基盤の強化・生産拡大など活力ある農林水産業を振興するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5

19プロジェクトの主な取組のご紹介

①～⑩の質問に対応した主な取組（平成30年度の取組など）を記載していますので、ご回答の参考にしてください。

- ① コンビナートの国際競争力の強化に向け、世界最大級の船舶の入港が可能となる港湾整備を実施【H30年度：徳山下松港・宇部港】
- ② 医療関連、環境・エネルギー分野などの重点成長分野の企業誘致を推進【H30年：企業誘致件数：28件】



- ③ 水素の利活用による産業振興に向け、コンビナートで大量に生成される水素を活用できるよう、企業の水素ステーションの開発を推進
医療、環境・エネルギー、バイオ関連分野における企業等の研究開発や事業化を支援【H30年度：事業化件数：31件】
- ④ IoTを活用した新サービス等を創出する企業を、専門家派遣や補助金等により支援【H30年度：中小企業IoT導入率：10.1%】



- ⑤ 県内金融機関等と連携したカンファレンスチームを設置し、地域中核企業への支援を実施【H30年度：訪問企業数：67社】
- ⑥⑦ ものづくりやサービス業を営む企業に対し、「生産性向上・人材創造拠点」を設置し、コーディネーターや補助金等による支援を実施
- ⑧ 商工会議所や商工会等と連携し、空き店舗のマッチングなどを行い、創業を希望する者を支援【H30年度：支援による創業数：239件】
- ⑨ 企業が求める産業人材の確保に向け、「山口しごとセンター」で、若者、女性、シニア、プロフェッショナル人材のマッチング等を実施【H30年度：就職決定者（山口しごとセンター登録者）：4,257人】



- ⑩ 新規就業者に対して、全国トップ水準の給付金などによる支援に加え、技術習得から生活全般へのトータルサポート体制を構築
中核経営体の経営基盤強化のため、専門大学等による経営分析、マネジメント研修、農業機器等の整備など、総合的な支援を実施



【2】大交流維新

		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
5 「交流を拡げる基盤整備」プロジェクト						
⑪	空港の便数や新幹線の停車回数など交通拠点の利便性や、交通拠点と観光地などを結ぶ二次交通の充実、道路網整備など、交通ネットワークの整備が進んでいる	1	2	3	4	5
⑫	国際交流（海外自治体や外国人住民など）を深めるための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
6 「選ばれる観光目的地やまぐち実現」プロジェクト						
⑬	観光資源やおもてなしの充実や、スポーツ・文化資源の活用など、観光客や来県者を増加させる取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑭	海外からの観光客を増加させるための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
7 「国内外での新たな市場開拓」プロジェクト						
⑮	首都圏や関西圏などに、山口県の魅力や県産品等売り込むための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑯	中小企業の海外展開や農林水産物・加工品の海外輸出を促進するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
8 「やまぐちへの人の還流・移住・定住促進」プロジェクト						
⑰	県外からの移住・定住者を増やすための取組（UJIターンなど）が進んでいる	1	2	3	4	5

【3】生活維新

		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
9 「結婚、妊娠・出産、子育て応援」プロジェクト						
⑱	結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための支援が進んでいる	1	2	3	4	5
⑲	安心して子どもを産み育てるための周産期・小児医療体制の整備などが進んでいる	1	2	3	4	5
⑳	児童虐待の防止や子どもの貧困対策など、困難を有する子どもへの支援が進んでいる	1	2	3	4	5

- ⑪ 山口宇部～ソウル線(国際定期便)の通年化に向け、旅行商品への支援等を実施、観光列車などの運行等により、観光地へのアクセスを改善

【H30 年度:観光列車などの運行:〇〇まるまるのはなし、やまぐち絶景満喫バス】

- ⑫ 慶尚南道・山東省の演武団体の山口ゆめ花博出演、日露交歓コンサート、日本・スペイン・シンポジウム開催など、国際交流に関する取組を実施



- ⑬ 「明治維新 150 年」を契機とする観光キャンペーンの展開、景観や道路網を活かしたサイクルートの設定等により、観光客の増加を促進

【H30 年度:観光キャンペーン「やまぐち幕末ISHIN 祭」の推進】

- ⑭ 海外でのプロモーションやクルーズ船の誘致、東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致等により、海外からの誘客対策を実施

【H30 年:クルーズ船寄港:77 回】



- ⑮ 県産品の売り込みの強化を図るため、「地域商社やまぐち」を中心に、首都圏等での販路開拓や情報発信を実施

【H30 年度:地域商社オリジナルブランドの商品開発:12 件】

- ⑯ 県内の輸出事業者を育成し、様々な県産品を近隣の物流拠点から低コストで輸出できる体系を構築



- ⑰ 移住促進の取組の強化に向け、東京の移住希望者に向けた講座の開催、県外でも移住相談に対応できる体制の整備などを実施【H30 移住者数:2,097 人】



- ⑱ やまぐち結婚応縁センターによるマッチングや、子育て世代包括支援センターの設置など、結婚から子育てまで、切れ目のない支援を実施

【H30 年度:マッチング件数:1,330 件、支援センター設置 15 市町】

- ⑲ 総合・地域周産期母子医療センターへの支援や、夜間の小児応急処置等への電話相談「#8000」など、周産期・小児医療の体制を整備

【H30 年度:小児救急医療の電話相談の件数:10,781 件】

- ⑳ 困難を有する子どもへの支援の充実を図るため、地域で子どもを支える「子どもの居場所づくり」の取組拡大、児童福祉司の増員等を実施



		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
10 「やまぐち働き方改革推進」プロジェクト						
⑳	長時間労働の縮減や、仕事と子育て・介護等が両立できる環境整備など、「働き方改革」の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉑	若者の県内就職・定着に向けた支援が進んでいる	1	2	3	4	5
㉒	女性が希望に応じて働き続けることができる環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
㉓	高齢者が希望に応じて働き続けることができる環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
11 「快適な暮らしづくり推進」プロジェクト						
㉔	暮らしを支える道路網の整備や公共交通機関の利便性向上、都市公園の利用促進など、快適な生活環境づくりのための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉕	再生可能エネルギーの導入促進などの地球温暖化対策の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉖	廃棄物の削減に向けたリサイクルなどの対策や廃棄物の適正処理の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉗	自然環境の保全・活用に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
12 「新時代を創造する人材育成」プロジェクト						
㉘	コミュニティ・スクールが中心となり、学校・家庭・地域が連携・協働して、子どもたちの学びや育ちを見守り支援する取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉙	35人学級や少人数指導など、子どもたちの学力向上に向けたきめ細かな学習指導ができる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉚	特別支援教育の推進に向け、きめ細かな学習指導ができる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉛	いじめ、不登校対策など、子どもたちの豊かな心の育成に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉜	特色ある学校づくりなど、子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉝	大学などが参画した地域づくり活動など、大学などによる地域貢献や地域活性化の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
13 「人を豊かにする環境づくり推進」プロジェクト						
㉞	生涯学び続けるための地域における多様な学習の機会や、自らのスキルアップのための学び直しの機会が充実している	1	2	3	4	5
㉟	文化・芸術活動やスポーツ活動が盛んに行われている	1	2	3	4	5

⑳ 働き方改革実践モデルづくりに向け、「やまぐち働き方改革支援センター」や登録制のアドバイザーにより、企業の取組のサポートを実施
【H30 年度：支援センター企業訪問件数：210 件】



㉑ 若者の県内就職・定着のため、県内外の大学生を対象とした県内企業インターンシップを実施【H30 年度：インターンシップ参加学生数：865 人】
県内企業の魅力発信動画（山口きらりカンパニー企業PR動画）を作成



㉓㉔ 「山口しごとセンター」を設置し、女性や高齢者の就職支援を強化
【H30 年度：シニア・女性就職支援コーナー利用件数：521 件】

㉕ バイパスの整備や道路の拡幅、歩道の整備などを実施
公共交通機関の利便性の向上に向け、ノンステップバスの導入、路線バスの交通系ICカードやバスロケーションシステム導入への支援などを実施
【H30 年度：バスロケーションシステム導入支援 2 社】



㉖ 通勤等での自転車の利用促進や、再エネと連係した家庭用蓄電池の導入への補助などにより、省エネ・創エネ・蓄エネの取組を推進



㉗ フードバンクポストの設置など、食品ロスを削減する取組を支援
【フードバンクポスト数：10 カ所（H31.3.31 時点）】

㉘ シカの個体数の調整など、野生鳥獣の適正な管理による生態系の保全や、秋吉台などの自然資源を活用した環境学習の取組を実施

㉙ 全国に先駆け、全ての公立小中学校及び総合支援学校にコミュニティ・スクールを導入し、地域と連携した取組を実施



㉚ 全公立小中学校で 35 人学級化の維持、少人数指導のための教員加配、学力向上推進リーダー等の配置など、指導体制の整備を実施

㉛ 県独自の技能検定「きらめき検定」、東京パラリンピックを契機としたパラリンピアンとの交流会実施など、障害のある生徒の社会参加を促進
【H30 年度：総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職決定率：94.8%】



㉜ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにより、児童生徒へのカウンセリングの実施や、家庭への支援の体制を整備
いじめや自殺の未然防止に向け、教員への研修などを実施

㉝ コミュニティ・スクールを活用した地域と連携する学校づくりの実施、昼間部・夜間部の定時制課程をもつ「下関双葉高校」の開校
【H30 年度：コミュニティ・スクールを活用し取組を実施した県立高校等：62.3%】



㉞ 県内の大学が持つ知見を活用した共同研究の推進や、大学生が中山間地域を活性化する取組への支援などを実施

㉟ 博物館やセミナーパークにおいて、生涯学習講座を開催するなど、様々な学習の機会を提供



㊱ 「ヨーロッパ絵画美の 400 年」など、美術館等での企画展の開催や、日本陸上競技選手権大会などの大規模スポーツイベントの誘致を実現
【H30 年度：県立美術館入館者数：158,341 人】

		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
14 「誰もがいきいきと輝く地域社会実現」プロジェクト						
③7	NPO、ボランティアなどによる県民活動や住民による見守り活動が活発に行われている	1	2	3	4	5
③8	男女が性別にかかわらず、個性や能力を發揮できる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
③9	高齢者などのシニアが、スポーツ・文化活動や社会貢献活動などに活躍できる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
④0	障害のある人に対する理解が進み、障害のある人が就労したり、スポーツ・文化活動を行うことができる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
④1	一人ひとりの人権が尊重されている	1	2	3	4	5
15 「安心の医療・介護充実」プロジェクト						
④2	地域で医療サービスを受けられる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
④3	医療や介護が必要になっても、高齢者が地域で安心して生活できる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
16 「県民一斉健康づくり」プロジェクト						
④4	生活習慣病の予防など、県民の健康づくりに向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
17 「災害に強い県づくり推進」プロジェクト						
④5	地域における防災活動が活発になっている	1	2	3	4	5
④6	大雨、台風、地震などに対する防災・減災対策やインフラの老朽化対策が進んでいる	1	2	3	4	5
④7	学校やホテル・旅館、住宅など、建築物の耐震化が進んでいる	1	2	3	4	5
18 「暮らしの安心・安全確保」プロジェクト						
④8	食品の検査や消費生活センターにおける相談など、食や消費生活の安心・安全の確保に向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
④9	安全で安心して暮らせる社会づくりに向けて、犯罪や交通事故の防止に向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
19 「人口減少社会を生き抜く地域づくり」プロジェクト						
⑤0	まちの拠点に、生活に必要な福祉・商業施設などを集約するコンパクトなまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5
⑤1	中山間地域の暮らしを守り、地域づくりを支援する取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑤2	中山間地域の地域資源を活用して、農林漁業などの体験を行う地域交流など、新たなビジネスを行うための取組が進んでいる	1	2	3	4	5

- ③⑦ 「ボランティア・チャレンジ」期間のイベントや写真展の実施、ボランティアマッチングサイト「あいかさネット」の運営などにより、県民活動を推進
- ③⑧ 男性の家事・育児への参画促進を図るため、「いまどき夫婦の家事シェアリング～家事から始まる男女共同参画手帳～」を作成・配布
- ③⑨ 高齢者のスポーツと文化の祭典「ねんりんピック山口」の開催、老人クラブのコミュニティ・スクールへの参画など、高齢者の活動を支援
【H30年度：ねんりんピック山口：22種目、2,567人参加】
- ④⑩ 「障害者芸術文化祭」、「キラリンピック」の開催や、パラアスリートの海外遠征助成など、障害者の活躍を支援
【H30年度：パラアスリート認定選手8名（うち4名が日本代表）】
- ④⑪ 人権ふれあいフェスティバルの開催や、スポーツ組織と連携協力した人権啓発活動を実施



- ④⑫ 本県出身の医学生に対する修学資金の貸付けや、研修医への指導体制の充実など、若手医師確保に向けた総合的な対策を実施
- ④⑬ 介護人材・生活支援コーディネーターの養成により、介護や生活支援等のサービスを一体的に提供する体制(地域包括ケアシステム)を強化



- ④⑭ 歩数や体重など健康情報を管理する「やまぐち健幸アプリ」の開発、減塩などに取り組む飲食店を拡大するプロジェクトの実施
【取組を行う飲食店数：延べ414店（H31.3.31時点）】



- ④⑮ 住民主体の避難所運営に向けた支援や、自主防災組織の研修を実施
- ④⑯ 大規模自然災害に備えるため、道路・橋梁、河川・ダム、砂防堰堤などの整備や老朽化対策を実施
- ④⑰ 施設の耐震化工事のほか、危険なブロック塀の除去への補助を実施



- ④⑱ 県と市町の消費生活相談員による、架空請求などの消費者問題に関する相談体制を整備【H30年度：消費生活相談員の配置市町数：19市町（全市町）】
- ④⑲ うそ電話詐欺水際対策といった防犯活動や、高齢者を対象とした交通安全指導を実施【H30年：高齢者対象の安全教育：847回(延べ28,084人)】



- ⑤⑰ 住宅や福祉・商業施設などを一定の区域に集約するため、市町が進めている「立地適正化計画」の策定を支援
- ⑤⑱ 集落の枠を超えた広い範囲(複数の集落)で、生活交通や買い物などの生活環境の維持・充実を図る「やまぐち元気生活圏」づくりを支援
【H30年度：やまぐち元気生活圏づくりに取り組む地域数：56地域】
- ⑤⑲ 地域交流の機運を醸成するセミナーの開催や、地域交流の主体となる担い手組織の立ち上がりを支援【H30年度：セミナー参加者：延べ80人】



【4】行財政基盤の強化		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらか といえばそう は思わない	そうは 思わない
㊦	県と市町が連携・協力して様々な事業に取り組み、住み良い地域づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
㊧	県の職員数の適正管理や財政の健全化など、県の行財政基盤の強化に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5

Q4-4 今後の県づくりを進めていく上で、県が重視すべき事項等についてのご意見があれば、その内容を記述してください。

その他、県が取組を進めている12項目についておたずねします。

1 防災・減災対策について

Q5-1 あなたの家庭では、台風や地震などの災害に備え、どのような防災対策を行っていますか。
(〇はいくつでも)

1. 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品など、非常持出品を準備している	5. ハザードマップで危険箇所を確認している
2. 食料や飲料水を備蓄している	6. 避難場所や避難経路を確認し、決めている
3. 家具などを固定化し、転倒防止を図っている	7. 家族との連絡方法・待ち合わせ場所を決めている
4. 防災情報を入手するため、防災メールやSNSなどに登録している	8. その他 ()
	9. 特に対策をとっていない

Q5-2 あなたは、過去1年間に、お住まいの地域や職場などでの防災活動(シェイクアウト訓練(※)、防災訓練、研修・講演などへの参加)に参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

1. 防災訓練(シェイクアウト訓練を含む)に参加した	3. その他 ()
2. 研修・講演会等に参加した	4. 参加していない

※合図に併せ、「DROP!(まず低く!)」、「COVER!(頭を守り!)」、「HOLD ON!(動かない!)」の三つの行動をとる訓練

2 県民活動について

「県民活動」とは、営利を目的としない県民の自主的・主体的な社会参加活動で不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与することを目的とする活動であり、活動の形態としては、コミュニティ活動(地域住民活動)、ボランティア活動(個人の自発的な意思に基づく活動)、NPO活動(一定の規模を備えた組織的な活動)をいいます。

Q6-1 あなたは、地域の清掃やスポーツ行事、まちづくり、リサイクル、高齢者や障害者のための福祉、子育て支援など仕事以外で地域や社会のために活動したことはありますか。(〇は1つ)

1. 活動したことがある	2. 活動したことがない
--------------	--------------

Q6-2 あなたは、今後このような活動をしたいと思いませんか。(〇は1つ)

1. したいと思う →Q6-3へ	2. したいと思わない →Q6-4へ
------------------	--------------------

Q6-3 どのような分野の活動をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 健康づくり(食生活改善、体力づくり等)	14. 犯罪防止(防犯活動等)
2. 医療(献血、情報提供、患者の会等)	15. 交通安全(交通安全活動等)
3. 高齢者福祉(見守り活動、食事サービス等)	16. 人権の擁護(人権擁護活動、差別撤廃活動等)
4. 児童・母子・父子福祉(子育て支援、母子・父子家庭支援等)	17. 平和の推進(平和推進活動、反戦活動等)
5. 障害者福祉(自立支援、手話・点字活動等)	18. 国際協力(発展途上国への援助等)
6. 社会教育の推進(生涯学習、啓発活動等)	19. 国際交流(文化交流、留学生への支援等)
7. まちづくりの推進(街並みや景観等の保全、清掃活動等)	20. 男女共同参画社会の形成(男女機会均等の推進等)
8. 学術、文化、芸術の振興(文化芸術活動、伝統文化の継承等)	21. 子どもの健全育成(放課後活動の実施等)
9. スポーツの振興(スポーツ活動等)	22. 情報化社会の発展(インターネットの知識・技術の習得支援、相談受付、情報提供等)
10. 環境保全(地球温暖化防止活動、公害防止活動等)	23. 科学技術の振興(科学技術の紹介・普及等)
11. リサイクル(リサイクル活動等)	24. 観光や産業等の振興(都市と農村との交流、地場産業の創出支援等)
12. 自然保護(森林保護、野生動植物保護等)	25. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援(資格取得支援・研修事業等)
13. 災害救援(災害時の人命救助や被災者支援のための活動等)	26. 消費生活(消費者保護、流通調査活動等)
	27. 市民活動団体の支援(団体への情報提供等)

Q6-4 したいと思わない理由を、次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

1. 活動する時間がない	5. 健康や体力に問題がある
2. 一緒に活動する仲間がいない	6. したいことがない
3. 活動する資金がない	7. 何をしてもよいかわからない
4. 情報やきっかけがない	8. その他()

3 消費生活に関することについて

Q7-1 あなたは、強引な勧誘や詐欺的な勧誘を受けた場合や、そのような勧誘により契約を締結してしまった場合、誰に相談しようと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 同居している家族・親族	8. 弁護士、司法書士などの専門家や法テラス
2. 同居していない家族・親族	9. 消費者団体
3. 友人、同僚など	10. その他()
4. 近所の人	11. 相談できる人がいない、相談できる機関がわからない
5. 民生委員、ホームヘルパーなど	12. 誰かに相談しようとは思わない
6. 市町や消費生活センターなど行政機関の相談窓口	13. わからない
7. 警察	

4 環境について

Q8-1 あなたは身近な環境について、どう思っていますか。(〇はそれぞれ1つ)

	満足	少し満足	どちらでもない	やや不満	不満
1. 省エネルギーの推進など地球温暖化対策の状況	1	2	3	4	5
2. ごみ・リサイクルの状況	1	2	3	4	5
3. 川や道路、海岸等の清潔さ	1	2	3	4	5
4. 自然の豊かさ	1	2	3	4	5
5. 自然とのふれ合う機会・場所の多さ	1	2	3	4	5
6. 空気や水のきれいさ	1	2	3	4	5
7. 生活環境の快適さ(騒音などがいいこと)	1	2	3	4	5
8. 景観のよさ	1	2	3	4	5
9. 環境関連イベントなどの情報入手のしやすさ	1	2	3	4	5

Q8-2 あなたはどのような環境の問題に関心がありますか。(〇はそれぞれ1つ)

	非常に 関心がある	少し関心 がある	あまり関 心がない	関心が ない
1. 地球温暖化の問題 (節電・省エネルギーの取組, 再生可能エネルギーなど)	1	2	3	4
2. 廃棄物問題 (ごみ・リサイクルの取組, 不法投棄など)	1	2	3	4
3. 川や道路、海岸などの環境美化	1	2	3	4
4. 自然景観の保全	1	2	3	4
5. 野生動植物の保護	1	2	3	4
6. 生活環境 (空気や水の汚れや、騒音など)	1	2	3	4
7. 化学物質の問題 (アスベスト、ダイオキシンなど)	1	2	3	4

Q8-3 あなたは、環境に関する情報を何から得ていますか。(〇はいくつでも)

1. マスコミの報道 (新聞・テレビ・ラジオ・雑誌)	5. 講演会・シンポジウム等への参加
2. 家族・友人との会話	6. 市民団体・町内会等での活動
3. インターネットやメールマガジン等	7. その他
4. 行政・民間団体等のパンフレット	

Q8-4 あなたは環境を大切にするために、日頃行っていることはありますか。(〇はそれぞれ1つ)

	行っている	時々行っ ている	行っていないが 今後行いたい	行っていない
1. 太陽光発電システムなど省・創・蓄エネ関連設備の導入 (再生可能エネルギーの導入促進)	1	2	3	4
2. 緑のカーテンや節電、ノーマイカー等による温室効果ガスの削減 (地球温暖化対策の推進)	1	2	3	4
3. 環境教育や環境学習、自然体験活動への参加 (人づくり・地域づくり)	1	2	3	4
4. 希少な野生動植物の保護 (生物多様性の保全)	1	2	3	4
5. 使用済み食用油を流さない等の生活排水を汚さないための取組 (水環境)	1	2	3	4
6. 電気自動車、燃料電池自動車の導入による地球温暖化対策・大気汚染対策 (大気環境)	1	2	3	4
7. リサイクルや環境に配慮した製品 (エコマーク商品など) の使用 (持続可能な社会・開発目標)	1	2	3	4

Q8-5 あなたは山口県の環境を守り、次の世代に引き継いでいくために、県民は何に取り組む必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 太陽光発電システムなど省・創・蓄エネ関連設備の導入 (再生可能エネルギーの導入促進)
2. 緑のカーテンや節電、ノーマイカー等による温室効果ガスの削減 (地球温暖化対策の推進)
3. 食べ残しの削減やマイバッグの持参等による廃棄物の減量、リサイクル (3Rの推進)
4. ごみの分別の徹底 (適正処理の推進)
5. 川や道路、海岸等の清掃や植栽など、地域の環境保全活動や美化活動への参加 (景観保全)
6. 環境教育や環境学習、自然体験活動への参加 (人づくり・地域づくり)
7. 希少な野生動植物の保護 (生物多様性の保全)
8. 使用済み食用油を流さない等の生活排水を汚さないための取組 (水環境)
9. 電気自動車、燃料電池自動車の導入による地球温暖化対策・大気汚染対策 (大気環境)
10. リサイクルや環境に配慮した製品 (エコマーク商品など) の使用 (持続可能な社会・開発目標)

Q8-6 あなたは山口県の環境を守り、次の世代に引き継いでいくために、行政機関（県や市町）は何に取り組む必要があると思いますか。（〇はいくつでも）

1. 太陽光発電システムなど省・創・蓄エネ関連設備の導入（再生可能エネルギーの導入促進）
2. 緑のカーテンや節電、ノーマイカー等による温室効果ガスの削減（地球温暖化対策の推進）
3. 食べ残しの削減やマイバッグの持参等による廃棄物の減量、リサイクル（3Rの推進）
4. ごみの分別の徹底（適正処理の推進）
5. 川や道路、海岸等の清掃や植栽など、地域の環境保全活動や美化活動への支援（景観保全）
6. 環境教育や環境学習、自然体験活動への支援（人づくり・地域づくり）
7. 希少な野生動植物の保護（生物多様性の保全）
8. 使用済み食用油を流さない等の生活排水対策（水環境）
9. 電気自動車、燃料電池自動車の導入による地球温暖化対策・大気汚染対策（大気環境）
10. リサイクルや環境に配慮した製品（エコマーク商品など）の使用（持続可能な社会・開発目標）

5 地球温暖化防止の取組等について

Q9-1 日常生活において、地球温暖化防止のためにどのような取組を行っていますか。（〇はいくつでも）

1. 緑のカーテンの設置、エアコン設定温度の調整やこまめに電気を消すなどの節電・省エネの取組
2. 新規購入や買換え時に省エネ効果の高いLED照明や冷蔵庫など家電製品の選択
3. 新築やリフォームなどの際に、省・創・蓄エネ関連設備（太陽光発電や家庭用蓄電池などの設備）の導入や高性能建材（ガラス・窓・断熱材）の選択など省エネ性能の高い住宅づくり
4. 徒歩・自転車・公共交通機関の利用やエコドライブ（急発進・急加速をしない等を行う運転）の実施
5. 新規購入や買換え時に次世代自動車（ハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車等）の選択
6. 地産地消やマイバッグの持参など環境にやさしい買い物の実践
7. ごみの分別の徹底や減量化、リサイクルの実施
8. 環境学習イベントや講座への参加
9. 取り組んでいない

Q9-2 あなたは、地球温暖化防止のために、行政機関（県や市町）はどのような取組を強化する必要があると思いますか。（〇は3つまで）

1. 地球温暖化に関するイベントやセミナーの開催
2. 地域における環境学習の実施
3. テレビや広報誌などを活用した広報
4. 省・創・蓄エネ関連設備などの導入を促進する支援制度の充実
5. 省エネ行動を支援するツールの充実
6. 地域内で再生可能エネルギーを有効活用する仕組みづくり
7. 公共施設における創・省・蓄エネ関連設備の率先導入の取組
8. 企業の技術開発等への支援
9. 国際的な技術支援や国際協力の推進
10. 公共交通機関の整備や交通渋滞の緩和
11. 森林の適正な維持管理

Q9-3 地球温暖化による影響や被害に備えた対策をとる「適応」という考えがあります。地球温暖化による気候変動の影響に対処するために、県が優先的に進めていくべき適応策はどの分野だと考えますか。（〇は3つまで）

1. 農林水産業（高温障害を軽減する栽培技術の開発や高温に耐えられる農作物の品種開発など）
2. 水環境・水資源（水質保全、漏水対策など）
3. 自然生態系（生物多様性の確保等）
4. 自然災害（洪水、ゲリラ豪雨、土砂災害への対策など）
5. 健康（熱中症や感染症への対策など）
6. 産業・経済活動（工場や観光産業に対する影響への対策など）
7. 国民生活（家屋や公共交通への被害、ヒートアイランド現象への対策など）

6 食の安心・安全について

Q10-1 あなたは、日常生活で食品に不安をお持ちですか。(〇は1つ)

1. 非常に不安	2. 少し不安	3. 不安はない
----------	---------	----------

Q10-2 あなたは食品について、どのようなことに不安をお持ちですか。(〇はそれぞれ1つ)

	非常に不安	少し不安	不安はない	わからない
1. 細菌やウイルスなどによる食中毒	1	2	3	4
2. 農産物への農薬等の残留	1	2	3	4
3. 食品添加物の安全性	1	2	3	4
4. 輸入食品の安全性	1	2	3	4
5. 食品の産地表示の信頼性	1	2	3	4
6. 食品の期限表示の信頼性	1	2	3	4
7. アレルギー物質の含有	1	2	3	4
8. BSE (牛海綿状脳症)	1	2	3	4
9. 遺伝子組換え食品の安全性	1	2	3	4
10. ダイエット食品などのいわゆる健康食品の安全性	1	2	3	4
11. 放射性物質による汚染	1	2	3	4

Q10-3 あなたは、県民が安全で安心な食生活を送るために、「食品関連事業者(生産者、製造・加工者、販売者)」、「消費者」、「県」は、それぞれどのような取組が必要だと思いますか。

(1) 食品関連事業者に望む取組 (〇は2つまで)	
1. 法令遵守などの倫理意識の向上	4. 食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供
2. 衛生管理の高度化や検査などの自主的な取組の推進	5. その他 ()
3. 原産地や期限表示などの適正な表示の徹底	
(2) 消費者に必要な取組 (〇は2つまで)	
1. 食の安心・安全に関する正しい情報の収集と知識の習得	4. 産地や工場見学等を通じた食品関連事業者との交流
2. 食品表示制度の理解と購入時における確認	5. その他 ()
3. 見た目や値段より安全性の重視	
(3) 県に望む取組 (〇は2つまで)	
1. 生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底	4. 食の安心・安全に関する正しい知識の普及と理解の促進
2. 食品に対する検査の徹底と結果の公表	5. その他 ()
3. 食品の安全性等に関する正確で迅速な情報提供	

7 循環型社会づくりについて

「循環型社会づくり」とは、大量生産・大量消費・大量廃棄を改め、廃棄物をなるべく出さず(発生抑制)、できるだけ資源として再利用し(リサイクル)、利用できない廃棄物は適正に処分することで、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り減らす社会づくりのことをいいます。

Q11-1 (1) 循環型社会づくりのために、次の取組をすべきだと思いますか。(〇は1つ)

(2) あなたは、日常的に次の取組を行っていますか。(〇は1つ)

	(1) すべきと思うか				(2) 日常的に行っているか			
	強く思う	思う	あまり思わない	思わない	行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない
1. 過剰包装された商品など、ごみになるものを買わない	1	2	3	4	1	2	3	4

	(1) すべきと思うか				(2) 日常的に行っているか			
	強く 思う	思う	あまり 思わない	思わな い	行ってい る	時々行っ ている	今後行い たい	今後も行 わない
2. ごみをできる限り減らす	1	2	3	4	1	2	3	4
3. ごみの分別を徹底してリサイクルする	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 買い物袋等を持参しレジ袋を辞退する	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 調理は食材を無駄なく使って適量とし、 食べ残しを減らす	1	2	3	4	1	2	3	4
6. リース・レンタル・共同利用（シェア） などを活用する	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 不用品はフリーマーケット、リサイク ルショップなどで再利用(リユース)する	1	2	3	4	1	2	3	4
8. 市町や企業のリユースやリサイクルの 取組に協力する	1	2	3	4	1	2	3	4
9. 詰替え可能な商品、繰り返し使用でき る容器に入った商品を選んで購入する	1	2	3	4	1	2	3	4
10. リサイクル製品を選んで購入する	1	2	3	4	1	2	3	4
11. 生ごみのたい肥化等の自家処理をする	1	2	3	4	1	2	3	4
12. 大型家電、小型家電を廃棄する場合は、 適切に処分（リサイクル）する	1	2	3	4	1	2	3	4
13. 地域の環境保全活動や清掃美化活動に 参加する	1	2	3	4	1	2	3	4
14. 海洋ごみの原因になる地域の散乱ごみ を清掃する	1	2	3	4	1	2	3	4
15. 環境学習会や講演会などに参加する	1	2	3	4	1	2	3	4

Q11-2 循環型社会づくりに向けた県の取組のうち、どの取組をご存じですか。（〇はいくつでも）

1. マイバッグ持参運動（レジ袋等の削減）	10. 日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃
2. やまぐち食べきっちゃる運動（食品ロスの削減）	11. 海洋ごみ対策に関する環境学習、普及啓発
3. フードバンク活動の支援	12. 生ごみのたい肥化、飼料化の促進
4. 産業廃棄物処理施設などの整備費補助制度	13. 森林、食品残さなど未利用バイオマスのエネル ギー利用の促進
5. リサイクル製品の認定制度	14. セメント工場を活用したごみ焼却灰等のリサイ クル
6. 優良な廃棄物処理業者の育成	15. 大規模災害に対応した災害廃棄物処理体制の整 備（市町の処理計画の策定促進）
7. 公共関与の広域最終処分場の整備推進	
8. 不法投棄ホットラインによる情報収集	
9. 休日・夜間不法投棄監視パトロール	

Q11-3 あなたは、循環型社会づくりのために、今後どのような取組を強化する必要があると思いますか。（〇は5つまで）

1. ごみ減量化の普及・啓発	11. 埋立処分を行う最終処分場の確保
2. 資源ごみの分別とリサイクル	12. プラスチック製品の使用削減
3. 食品ロスの削減	13. 海洋ごみの清掃活動
4. フードバンク活動の支援	14. 海洋ごみの実態調査
5. 物を繰り返し使う（リユース）取組	15. 未利用資源の利活用
6. 環境に配慮した商品の購入・使用	16. 生ごみのたい肥化、飼料化
7. 資源循環に関する産業の育成	17. 地域循環圏（資源の地域内循環）の構築
8. 資源循環のための技術開発、製品開発	18. 大規模災害時の災害廃棄物処理体制の整備
9. 優良な廃棄物処理業者の育成	19. 地域で行われる環境保全活動、美化活動
10. 不法投棄等の監視	20. 学校や地域での環境教育、環境学習

8 生物多様性について

Q12-1 あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 言葉の意味を知っている | 3. 聞いたこともない |
| 2. 意味は知らないが言葉は聞いたことがある | 4. わからない |

「生物多様性」とは、様々な生き物がいたり、山、川、海など生き物が暮らせる豊かな自然があることです。この生物多様性は、私たちの豊かな暮らしに欠かせない多くの自然の恵みをもたらしてくれます。

Q12-2 生物多様性を守っていくために、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 絶滅のおそれのある野生動植物の保護 | 7. 里地里山、里海の保全・再生 |
| 2. アライグマやブラックバス、アルゼンチンアリ等外来種による生態系等への影響防止 | 8. 森・里・川・海の一体的な保全・再生 |
| 3. 国定公園等の優れた自然環境の保全 | 9. 環境保全型農業など生物に配慮した農林水産業の振興 |
| 4. エコツアーや自然観察会等の自然とふれあう機会の提供 | 10. 産業活動や開発事業における野生生物や自然環境への配慮 |
| 5. イノシシやシカ等による農作物被害の防止など有害鳥獣対策 | 11. 学校等での環境教育、環境学習の推進 |
| 6. 豊かな森林づくりの推進 | 12. 県民への生物多様性に関する普及啓発 |
| | 13. 特に必要ない |

9 運動・スポーツの実施状況について

Q13-1 あなたは、過去1年間に、どの程度、「運動・スポーツ(※)」を行いましたか。(〇は1つ)

※ 陸上競技・水泳・球技・武道・マリンスポーツ、ウインタースポーツ等の他、グラウンドゴルフ・ソフトバレー等のレクリエーションスポーツ、サイクリング、トレッキング・釣り等のアウトドアスポーツ、ウォーキングや軽い体操、運動を目的とした自転車や徒歩での通勤・通学等を含みます。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 週に3日以上(年150日を超える程度) | 4. 3か月に1~2日程度(年4~11日程度) |
| 2. 週に1~2日程度(年51~150日程度) | 5. 年に1~3日程度 |
| 3. 月に1~3日程度(年12~50日程度) | 6. 行わなかった → Q13-3へ |

Q13-2 どのような「運動・スポーツ」を行いましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 競技スポーツ(球技以外)(陸上競技、水泳等) | 6. マリンスポーツ(ヨット、サーフィン、カヌー等) |
| 2. 球技(屋外)(野球、テニス、ゴルフ等) | 7. アウトドアスポーツ(サイクリング、登山、釣り等) |
| 3. 球技(屋内)(バレーボール、卓球等) | 8. レクリエーションスポーツ(グラウンドゴルフ等) |
| 4. 武道(柔道、剣道、空手、弓道等) | 9. トレーニング・健康づくり(ウォーキング、ヨガ等) |
| 5. ウインタースポーツ(スキー、スケート等) | 10. 自転車や徒歩での通勤・通学等(※運動目的) |

Q13-3 「運動・スポーツ」を行わなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|-----------------|-------------|-------------|
| 1. 仕事(家事・育児)が多忙 | 5. 仲間がいない | 9. 機会がない |
| 2. 体が弱い | 6. お金が掛かる | 10. その他() |
| 3. 年を取った | 7. 場所や施設がない | 11. 特に理由はない |
| 4. スポーツは好きでない | 8. 指導者がいない | |

10 地産・地消の推進について

Q14-1 県内で生産された農林水産物を県内で消費する「地産・地消」についてご存じですか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1. よく知っており、意識して県産農林水産物を購入するようにしている | 3. 言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 2. 知っているが、買い物の際には特に意識していない | 4. 初めて聞いた言葉である |

Q14-2 県産農林水産物等の需要拡大を進めるため、味や品質に優れる「やまぐちブランド」の育成に取り組んでおり、現在、「萩たまげなす」や「やまぐちのあまだい」など約100商品が登録されています。あなたは、この「やまぐちブランド」をご存じですか。(〇は1つ)

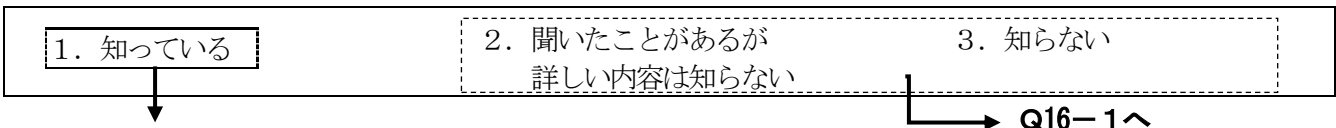
- | | | |
|----------|-------------------------|----------------|
| 1. 知っている | 2. 言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない | 3. 初めて聞いた言葉である |
|----------|-------------------------|----------------|

11 「やまぐち森林づくり県民税」について

Q15-1 近年、森林の荒廃が問題となっていますが、あなたは、森林の持っているどのような働きをご存じですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 水を蓄える働き | 6. 防風や防音など、快適な生活環境をつくる働き |
| 2. 洪水や土砂の流出を防ぐ働き | 7. 緑豊かな美しい景観をつくる働き |
| 3. 二酸化炭素などを吸収し地球温暖化を防止する働き | 8. 木材やきのこなど、生活に欠かせない林産物を生み出す働き |
| 4. 鳥や植物など、さまざまな野生動植物の生息の場としての働き | 9. その他 () |
| 5. レクリエーションの場などの提供や、いやしを与えてくれる働き | 10. 知らない |

Q15-2 山口県では、荒廃した森林の再生を図るため、平成17年度から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。あなたは、この「やまぐち森林づくり県民税」をご存じですか。(〇は1つ)



Q15-3 「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業のうち、どの事業の内容をご存じですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1. 森林機能回復事業（荒廃したスギ・ヒノキ人工林の一部の伐採） | 4. 森林環境活動サポート事業（ボランティア団体等への支援） |
| 2. 繁茂竹林整備事業（繁茂した竹林の伐採） | 5. 事業の内容は知らない |
| 3. 地域が育む豊かな森林づくり推進事業（市町等が独自に取り組む多様な森林整備への支援） | |

12 コミュニティ・スクールについて

Q16-1 山口県では、すべての公立小中学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組みが導入されており、保護者や地域住民の声を生かした「地域とともにある学校づくり」を推進しています。あなたは、校区の小中学校が「コミュニティ・スクール」であることをご存じですか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|---------|--------|
| 1. 知っている | 2. 知らない | →16-3へ |
|----------|---------|--------|

Q16-2 「コミュニティ・スクール」について以下のことをご存じでしたら〇をつけてください。(複数回答可)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. コミュニティ・スクールは、県内全ての特別支援学校に導入されている |
| 2. コミュニティ・スクールは、県内の公立高校にも導入が進んでいる |

Q16-3 あなたがお住まいの地域と地域にある学校（小学校、中学校いずれについてでも可）との関係について、あなたはどの程度そう思いますか。そう思う程度を教えてください。(〇はそれぞれ1つ)

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1. お住まいの地域にある学校は、親しみやすい	1	2	3	4	5
2. 学校は、学校の授業や様々な活動の様子を、学校だよりやホームページで地域住民に知らせている	1	2	3	4	5
3. 学校は、育てたいと思う子ども像や理念を保護者や地域住民と共有しようとしている	1	2	3	4	5

